



湧別町立ゆうべつ学園

学園だより

令和7年12月23日
(第10号)
校長 若松 征一

重点教育目標「一歩踏む出す心 自ら学ぶ 支え合う仲間」
～自分から 自分のために みんなのために～

ゴールを見据え、学びをつなぐ

校内を歩いていると、1年生から9年生まで、それぞれの学年で、単元のゴールを意識しながら、見通しをもって学習に取り組む姿が見られます。友達と考えを伝え合い、支え合いながら学びを深めていく姿は、ゆうべつ学園ならではの学びの風景です。

今年も、多くの皆様にご来校いただき、子どもたちが生き生きと学ぶ姿を見ていただきました。ここでは、その際に寄せられた感想の一部を紹介します。

- 教室に入ると、子どもたちが落ち着いて学習に向かい、明るく安心感のある雰囲気が広がっていました。
- 外靴やランドセルが一つ一つ丁寧にそろえられており、物を大切にする心と日常の積み重ねが感じられました。
- 友達同士が自然に声をかけ合い、考えを伝え合いながら学びを深めている姿が印象的でした。
- 文章で自分の考えをまとめたり、相手に分かるように伝えたりする力が、どの学年でも高まっていると感じました。
- 進んであいさつを交わす子どもたちの姿から、学校全体に温かな人間関係が育っていることが伝わってきました。

といった声を多くいただき、地域とともに歩む学校としての確かな手応えを感じています。

本校では、決められたことを自分で進める自主性と、学習の目的や意味を理解し、よりよい学びをつくろうとする主体性の両方を大切にしています。単元のゴールを共有し、学習の流れを見通すことで、子どもたちは「何のために学ぶのか」を自分事として捉え、学びに向かう姿勢を育んでいます。

こうした学びの積み重ねは、学力の向上にとどまらず、これからの人生を支える確かな力となります。9年間の学びのつながりを大切にしながら、一人一人の成長を次の学びへとつなげていきます。

今年一年、本校の教育活動に対し、保護者並びに地域の皆様から温かなご理解とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。今後とも、本校の教育活動への変わらぬご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

どうぞ、よいお年をお迎えください。

管内公開研究会を開催しました

12月10日（水）、町内外から多くの教職員が来校し、子どもたちの学びの姿を公開しました。授業では、子どもたちが友達の考えに耳を傾け、自分の思いや考えを言葉や文章で表現しながら、主体的に学びに向かう姿を多くの教職員の方々にご覧いただきました。



大妻女子大学の榊山敏郎教授の講演に集まった教職員



数学の授業に臨む9年生の生徒たち



自分の考えを友達と交流する2年生



友達の考えを真剣に聞く3年生

赤い羽根 共同募金活動

12月18日（木）、児童生徒会が中心となり「赤い羽根共同募金」に取り組みました。毎朝、児童生徒玄関で呼び掛けを行うとともに、A コープ湧別店前でも募金活動を実施し、6,366 円の善意が集まりました。ご協力ありがとうございました。



募金呼び掛けする児童生徒会



赤い羽根を渡す児童生徒会

ロールカーテン設置完了

1～4年生の教室に遮光カーテンが設置されました。これで午前中の日光の差し込みが低減され、明るさを調整できるようになり、落ち着いた学習に取り組める環境が整いました。



太陽の高さに合わせて調整できるロールカーテン

特別授業（アサーションについて学ぶ）

12月18日（木）7・8・9年生を対象に日本医療大学：橋本達志氏を講師に迎え、「アサーションを学ぼう」と題して、自分の気持ちや考えを大切にしつつ、相手の意見や感情を尊重するコミュニケーションを学びました。



演習問題に対して、自分の考えを発表する生徒



コミュニケーションパターンについて講義を受ける生徒たち



自分も相手も大切にできる会話について意見交換をする生徒たち

自然災害に備えて

今年、10月15日（水）の「熊出没」と12月15日（月）の「暴風雪」の2回「臨時休校」となりました。子どもたちの命を守ることを第1に考えた対策です。日常からの保護者・地域の皆様のご理解とご協力により、子どもたちの安全が保たれていることに感謝申し上げます。

今後とも、迅速な対応を心がけて参ります。



チラシへのアクセスはこちらのQRコードを読み取ってください。

【学校閉庁日のお知らせ】

・12月29日（月）～R8.1月4日（日）の期間は、学校閉庁日となりますので、緊急の連絡がある場合は下記までご連絡ください。

・湧別町教育委員会 01586-5-3143

1月の行事予定はこちらから読み取れます。

